

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		生産調整推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040101000833
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	水田農業振興室
	施策名	01 農林業の振興						担当者名	
	手段名	01 ①担い手の育成・支援							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	07	01	00	水田農業対策事業		
法令根拠	桜川市補助金等交付規則					単年度繰返し (年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 生産調整を確実に達成させるため、集落や生産調整実施組織、担い手に補助金を交付する。 また、転作水田の水利費等を助成し、生産調整協力農家の負担を軽減する。 【事業の内訳】 ・ブロックローテーション推進補助金 ・新規需要米推進事業費補助金 ・生産調整推進対策達成補助金 (H30廃止) ・生産調整推進対策計画転作推進補助金 (H30廃止)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 補助金交付申請書の受付 →補助金交付決定通知書の作成・送付 →補助金の交付 →実績報告書の受付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)		
			正副区長・生産組合長合同会議	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			補助金交付申請書の受付 →補助金交付決定通知書の作成・送付 →補助金の交付 →実績報告書の受付		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)		
			実施集落数	地区	100.00	98.00	98.00	98.00	98.00
			実施農家数	戸	3,009.00	3,415.00	3,415.00	3,415.00	3,415.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)		
			達成集落数	地区	85.00	72.00	72.00	72.00	72.00
			達成農家数	戸	2,959.00	2,859.00	2,859.00	2,859.00	2,859.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	15,700	15,650	15,850
	事業費計 (A)	千円	15,700	15,650	15,850	0
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	19 負担金補助及び交付金	15,650	19 負担金補助及び交付金	15,850
		合計	15,650	合計

事務事業名	生産調整推進事業	事務事業No.	40101000833	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 生産調整政策は、昭和40年代前半に顕在化した米の生産過剰と古米在庫の累積を背景として、昭和44年度に試験的に実施され、米の生産過剰が一過性的ではなく構造的なものであるという判断から、中長期的な視点による生産調整目標量と一定の実施期間を定めた対策として本格的に進められた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 水稲、麦、大豆及びそばの価格低迷					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 米の生産調整は、国、県、市、地域の農業協同組合、生産農家の全てが協力体制を密にし、推進しなければ達成できない事業であり、米価を安定させ生産農家の生活向上を図ることにより政策体系、施策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国の事業として行われている生産数量目標に協力し、農家の所得安定を目的とする。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 現状で効果が出ている。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を廃止・休止した場合には、米の生産過剰が予想され、それに伴う米価の下落、農業所得の低下、農業離れ、耕作放棄地の増加、食糧自給率の低下などの影響が懸念される。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限で実施している。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国の施策であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	国では、生産調整目標面積配分をH29までとしている。H29以降は、目標面積がないので、割当面積を達成することで要件を満たす助成金の廃止を検討する。→H30廃止済み																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持	○	X	X	低下	X	X	X
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持	○	X	X																		
	低下	X	X	X																		
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A : 継続(現状維持) C : 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B : 継続(改革改善を行う) D : 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>